

まちのわだい

折り紙芸術の集大成



8月21日から23日まで、「折り紙ボランティア水巻」による25周年記念作品展が歴史資料館町民ギャラリーで開催されました。本物と見紛うような折り紙の花々など、色鮮やかな作品が多数展示され、訪れた人を魅了していました。

本に囲まれて楽しむ音楽のひととき



8月16日と21日に図書館内ではやしゆきの「お昼のピアノリサイタル」が開催され、美しい音色が明るい館内に響き渡りました。林さんは、国内外の数々のコンクールで入賞、ポーランドを中心に国内外の演奏会に出演しています。



1秒でも早く救助するために
火災防ぎよ訓練に伴うドア開放訓練

9月14日と15日に吉田団地内の解体予定住棟で、遠賀郡消防本部による強制進入技術訓練が行われました。これは、建物で火災が発生した際に、ボールなどを使ってドアを強制的に開放し、建物内にいる人などを救助するための訓練です。

土砂降りとなった初日の訓練では、隊員たちが熟練者から指導を受けながら、ドアと戸枠の隙間にボールを挿し入れ、ボールの後端にハンマーで衝撃を加えて鍵を破壊、てこの原理でドア開放する様子が見られました。



9月2日、カノアラウレアーズ福岡と水巻町とのフレンドリータウンに関する協定の締結式が行われました。カノアラウレアーズ福岡は福智町をホームタウンとする女子バレーボールチームで、今年、SV.LEAGUEの下部リーグとして創設された「SV.LEAGUE GROWTH」への参入を決定しました。カノアラウレアーズ福岡からは代表取締役の中村恭輔さんをはじめ、監督の高松卓矢さん、営業本部長兼アリーナMCの小林謙太さん、ミドルブロッカーの大久保真美選手が参加しました。この協定を通じて、町民に親しまれるスポーツ交流や、子どもたちへの夢や挑戦の機会の提供、町内イベントなどとの連携、町の魅力発信などを行っていきます。

バレーボールで広がる交流の輪
フレンドリータウン協定締結式

KBCオーガスタで町をPR



8月30日、芥屋ゴルフ倶楽部でKBCオーガスタが開催され、会場内の「ふるさとWish マーケット」に水巻町も出店しました。ふるさと納税で人気の清川産業の「ふくよか豚」のカタログスひとくちステーキのほか、みずまるグッズやでかにんにく加工品も販売し、来場者に町の魅力をPRしました。

これからお元気で



9月13日、吉田三区の敬老会が開催され、子ども会がお祝いの言葉と合唱を披露して交流を深めました。初めは恥ずかしがっていた子どもたちも、会場からの手拍子で徐々に歌声が元気になっていきました。帰りには自治会からたくさんのお菓子をもらい、笑顔あふれる敬老会になりました。

みんなでわっしょい子ども神輿



9月27日、河守神社秋季大祭で子ども神輿が地域を巡回しました。前日からの雨で1日順延されましたが、小雨が降る中、笛に合わせて大きな声でわっしょい、わっしょい。地域の皆さんに見守られながら、低学年の子どもも最後まで頑張っていました。



未来へつなぐスカウトの絆

ボーイスカウト遠賀第3団発団40周年記念式典

9月13日、南部公民館でボーイスカウト遠賀第3団発団40周年記念式典が行われました。ボーイスカウト遠賀第3団は、昭和61年の発団以来、野営場での野外活動やキャンプなどを通じ、地域に根差したスカウト活動を続けています。

式典では、これまでの歩みを映像で振り返ったほか、8月に広島県で開催された第19回日本スカウトジャンボリーの活動報告などが行われました。また、全隊合同スタンツでは、1907年にイギリスで始まり、世界へ広がったボーイスカウト運動の歴史を、スカウトたちが劇で紹介しました。



子どもたちの居場所に笑顔の贈り物

西日本シティ銀行「お菓子いっぱいプロジェクト」

9月14日、水巻町こども食堂ネットワークに対して、西日本シティ銀行から子どもたちへお菓子が寄贈されました。これは、同行の役職員から集めたお菓子を、地域のフードバンク団体やこども食堂などに届ける「お菓子いっぱいプロジェクト」の一環として行われたものです。ネットワークを構成するこども食堂の一つ、「水巻こどものおうち」では、お菓子を受け取った子どもたちが、目を輝かせながら、好きなお菓子を楽しそうに選んでいました。「水巻こどものおうち」は、子どもたちが気軽に立ち寄って、遊びや宿題などをしながら自由に過ごせる場所で、大人も利用することができます。